

○ 6月6日(火) 晴 苫小牧からフェリーで仙台へ

5時前に起床。ホテルの窓から外を見ると、外は良く晴れている。

早速メールを開き着信の確認と、数人へ旅の報告のメールを送った。

1階のレストランでバイキングの朝食をいただき 9時半にチェックアウトした。

今日はここ苫小牧の港から夕方7時出航の太平洋フェリーで仙台へ向かう。丸一日時間があるが何をして過ごそうか。フロントで苫小牧の観光地を聞いたがこれと云って見たいところも無い。

仕方ない、新千歳空港へ行ってお土産を探したり食事をしたりして時間を潰すか。

久しぶりの新千歳空港、駐車場もかなり混雑している。まず2階のお土産品コーナーへ。相変わらず多くの土産物店がひしめきあり、多くの人で混雑している。なんといってもやはりお菓子や海産物など食料品関係が多い。毎年の北海道のお土産だからもう珍しくも無いし、適当に簡単に済ませた。



3階のフードコートで昼食を食べながら、見慣れた JAL や ANA の飛行機や、初めて見るような見たことも無い飛行機まで、いろいろな飛行機が数分間隔で離着陸している飛行場を眺めて、ゆとりの時間を過ごした。

フェリーは苫小牧西港を 19 時発だが 17 時までには搭乗手続きをしなければならない。途中「道の駅・ウトナイ湖」に寄って WiFi をつないでメールを確認したり買い物したりして 4 時過ぎに苫小牧西港に着いて搭乗手続きを無事完了した。5 時半前から乗船が開始された。新日本海フェリーよりも 1 時間近く早く乗船開始されたので少々面食らった。フェリー会社によってずいぶん違うものだな！



地味な外観の太平洋フェリー

初めて乗る太平洋フェリー。外見は地味だが船内はきれいで結構良い。客室は6階と7階にあり、私は6階のエコノミーシングル 635-08 室。小さい部屋だがテレビもあり鍵もかかる。まず風呂へ。風呂も洒落た作りだった。入浴客も数人しかいないので、ゆっくりのんびり風呂を楽しんだ。風呂から上がり、7階ロビーの窓際の机に苫小牧のコンビニで用意してきた食料を運んだ。まだ 19 時前なので出港していない。快晴の苫小牧港を眺めながらビールを開け夕食を開始した。乗船客が少ないのか周りにはほとんど人がいない。食事中にフェリーは苫小牧港西港を仙台へ向けて出港した。離れ行く苫小牧の街を眺め、「今年も北海道へ来ることが出来たな。来年も来られるのかな？」と思いながら、20 時過ぎまで夕食を摂りビールも 2 缶空けた。



船室



良い気持ちで部屋へ戻りそのままベッドに横になった。

これで今年の北海道は終わった。

全般的に雨が多い旅だったが、アポイ岳は晴れてエゾオオサクラソウに会えたり、  
雨の芦別カナディアンワールドもそれなしに有意義だったし、

良い北海道だった。

明日からは 東北の花旅だ。

## ○ 6月7日(水) 晴 仙台からセヶ宿へ

太平洋も静かな海だった。船は全く揺れることなく快走し、ぐっすり眠ることが出来た。

5時起床。船内を散歩したが、  
乗客に一人も会わず静かな  
船内だった。海は穏やかで  
天気は良好。昨夜と同じく  
ロビーで窓の外の海を眺め  
ながら朝食をとった。

時々乗客が出てきては海を  
眺めている。



9時過ぎるとだんだん陸地が近くなり、10時前に仙台港に入ってきた。



定刻10時に仙台港に接岸し、  
下船が始まったが、どうい  
うわけか私の車が最後になり、  
10時半近くになってやっと  
下船できた。まあ急ぐ旅では  
ないので別にかまわないが。

仙台港は初めて来たので全く勝手がわからない。  
とりあえずフェリー ターミナルの駐車場に止めて待合室でこれか  
らの計画や道順などを確認した。仙台は快晴で太陽がキラキラと照り  
つけ真夏の暑さとなっている。



まず最初に、仙台に来たら必ず寄ってお互いの健康を確かめ合っている大学同期の友人、N氏宅へ向かった。  
さすが仙台は大都会だけあって車も信号も多く、泉区のお宅に着くまでに、炎天下1時間近くもかかった。  
北海道から予め電話しておいたので、快く迎えてくれた。ご夫婦とも相変わらず元気でおられるようで安心した。  
今回の北海道で出会った花々をパソコンで見ながら旅の話をしたり、大学同期の情報交換や、今まで何回も夏の  
北海道で出会った思い出話などに花が咲き、15時頃まで長居をし、楽しい時を過ごした。

友人宅を後にして今日の宿泊予定の七ヶ宿へ向かった。

泉 IC から白石 IC まで高速に乗り国道 113 号線（七ヶ宿街道を西へ進む。道はどんどん山奥へ入り、国道と云ってもカーブ連続の細い道だ。車は殆ど走っていない寂しい道を小一時間走り七ヶ宿湖のはずれに「道の駅・七ヶ宿」があった。よくもこんなにさびしい山奥に道の駅を作ったものと驚くほどだ。

道の駅はだだっ広い駐車場に結構立派な駅舎が建ち、その奥に「水と歴史の館・歴史民俗資料館」という立派な建物が併設されている。もう 5 時を回っているのに資料館は閉館されているが、道の駅は 5 時半まで開いている。だが、周りに誰一人見当たらない。ひょっとして今日車中泊は私だけかな？ この広い駐車場を私が独り占めすることになる。



とりあえず駐車場の照明の下に車を止めて、夕食に取り掛かった。天気は良いし温かいし、周りに広がる静かな景色を堪能しビールを飲みながら一人さびしく、でも楽しい夕食を食べた。時々車が入ってくるが、みんなトイレに寄ってすぐ出て行った。日が落ちてからは一台の車も入ってくることはなく、案の定広い駐車場に私の車 1 台だけになった。



夜中にトイレに起きた時も全く車は無く、快晴の空に月と星がきれいに輝いていた。

こうして本州で初日が過ぎた。

明日は不忘山へ登りユキワリコザクラに会いにゆく。